

熊本市
遺跡発掘速報展
2024

千の刻と黒い米

令和6年度 熊本博物館 考古資料蔵出し
「極東アジアの瓦コレクション」展

2025 (令和7年)

1/11 (土) - 3/9 (日)

◀ 大江遺跡群出土 炭化米

熊本博物館 2階 特別展示室 3 ギャラリートーク 2025/1/11 (土)
午前 10 時～ 1 時間程度

観覧料 熊本博物館常設展示入場料のみでご覧いただけます。

一般：400 円 (320 円) / 高・大生：300 円 (240 円) / 小・中学生：200 円 (160 円)

※ () 内は 30 名以上の団体料金。

※ 未就学児、熊本市内の学校に通学する小中学生 (名札、生徒手帳、くまはくミュージアムパスいずれかを所持する方) は無料です。

また、障がい者手帳または 65 歳以上の熊本市民で証明書をお持ちの方の入場は無料です。

主催 熊本市文化財課・熊本博物館

熊本市 遺跡発掘速報展 2024

近年行った発掘調査の最新成果や整理作業の過程でわかった新発見など、熊本市の埋蔵文化財調査最前線について、出土遺物や写真パネルの展示で解説します。熊本博物館の蔵出し展も同時開催！



▲ 大江遺跡群（奈良～平安時代）
3間×3間の建物が計画的に配置されていたことがわかりました。多量の炭化した米がみつき、建物は米を収納した倉庫群だったと考えられます。どんな施設があったのでしょうか。



▲ ウシクビ横穴群（古墳時代）
南区城南町にある横穴群です。崖面に横穴を掘って、中に遺体を葬るお墓です。以前から存在は知られていましたが、周辺の確認調査に際し、改めて調査しました。



▲ 黒橋貝塚出土土器（縄文時代）
南区城南町の国指定史跡【黒橋貝塚】の隣接地で確認調査を行い、遺跡が広範囲に広がっていることがわかりました。粘質土の中からは縄文土器の他に、多くの動物や魚の骨に加え人骨も見つかっています。



▲ 陳山廃寺（奈良～平安時代）
水前寺公園近くで肥後国の国分尼寺があったとされる遺跡です。建物の土台とするため、土質の異なる土を突き固めながら薄く何十層も重ねていく、版築（はんちく）と呼ばれる土木技術が用いられています。

◆ アクセス

- ・バスで「桜町バスターミナル」または「市役所前」下車、徒歩約15分
- ・熊本城周遊バス（しろめぐりん）で「博物館・旧細川刑部邸前」下車
- ・熊本市電「杉塘」下車、徒歩約5分
- ・専用駐車場はありません。周辺駐車場は混雑が予想されるため、公共交通機関をご利用ください。

◆ 開館情報

開館時間 9:00～17:00（入場は16:30まで）
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）
年末年始 12/29～1/3

◆ お問い合わせ

熊本市文化財課 Tel 096-328-2740 Fax 096-324-4002



熊本市中央区古京町 3-2